

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 アールビバン株式会社
 コード番号 7523 URL <http://www.artvivant.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 岩本 一也
 (氏名) 樋口 弘司
 配当支払開始予定日

TEL 03-5783-7171
 平成25年12月11日

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	2,867	6.5	534	20.7	568	29.1	338	23.3
25年3月期第2四半期	2,693	△7.3	443	174.4	440	143.8	274	8.7

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 359百万円 (35.8%) 25年3月期第2四半期 264百万円 (27.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	25.90	—
25年3月期第2四半期	21.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	17,362	13,063	75.2	998.93
25年3月期	16,910	12,834	75.9	981.46

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 13,063百万円 25年3月期 12,834百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,500	3.2	920	31.1	950	25.7	520	△19.6	39.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 当期純利益の前年同期比が大幅にマイナスになっている理由につきましては、前期のアールビバン株式会社におきまして、住民税・事業税の欠損金が解消することに伴い、税効果会計の法定実効税率を見直したことにより繰延税金資産の計上を134百万円行つたため、税効果会計適用後の法人税等の額が税金等調整前当期純利益に対し著しく少なかったためであります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	15,463,816 株	25年3月期	15,463,816 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	2,386,612 株	25年3月期	2,386,612 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	13,077,204 株	25年3月期2Q	13,077,225 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、いわゆるアベノミクスによる雇用・給与所得増加に向けた政策効果や2020年度東京オリンピック開催への期待がみられるものの、円安の影響による仕入価格やそれに関連する原油価格や電気料金の上昇等によるコスト増が懸念されるなかで、来年四月からの消費税引上げによるマインド低下、株価や為替の変動による先行き不透明感が見られ、景気の持ち直しのテンポは緩やかな状況となっております。

このような状況の下、当社グループでは、引き続き、「絵のある豊かな生活（くらし）」によって、一人でも多くのお客様に夢や希望を感じていただけるように営業活動を推進し、基幹の「アート事業」を中心に積極的な営業展開を行ってまいりました。また、経営資源の集中と組織の効率化をテーマに、コスト削減に努め、収益力の改善に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,867百万円（前年同四半期比6.5%増）、営業利益534百万円（同20.7%増）、経常利益568百万円（同29.1%増）、四半期純利益338百万円（同23.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

◆アート関連事業

当社グループの主力事業である絵画等販売事業におきましては、新企画「ディズニードリームアートフェスティバル」の開催など、引き続き、新規顧客獲得に主眼をおいた営業活動に注力をし、また、イラストグッズ販売におきましては、4月に6店舗目のギャラリー（グッズ専門店としては3店舗目）を栃木県宇都宮市に出店するなど、新規顧客の獲得及び取扱アーティストのブランド化に努めてまいりました。

この結果、売上高は1,991百万円（同9.5%増）、営業利益は328百万円（同10.3%増）となりました。

◆金融サービス事業

金融サービス事業におきましては、引き続き、当社及びその他一般加盟店の顧客に対する個別信用購入斡旋事業を中心に取り組んでまいりました。

この結果、債権担保融資事業の収益が減少したことにより売上高は356百万円（同0.0%）と横這いとなったものの、営業利益は217百万円（同10.2%増）となりました。

◆リゾート事業

「タラサ志摩ホテル」におきまして、自社運営により、本来の強みである「タラソテラピー」やヘルシーな食事・快適な運動・リラクゼーションの3要素を組み合わせた「トータルヘルスプログラム」など心と体をテーマにしたコンセプトの確立や地元競合ホテルとの明確な差別化を図り、存在感のある「タラサ志摩ホテル」を追求し、収益力のアップを目指して運営をいたしました。

この結果、プライダルの挙式数がやや低調だったものの、客室の販売が前年を上回ったことにより、売上高は328百万円（同23.4%増）となり、営業損失は37百万円（前年同四半期は99百万円の営業損失）となりました。

◆健康産業事業

フィットネスクラブ「カルナ フィットネス&スパ 柏」におきまして、引き続き、ホスピタリティ精神を大切に質の高いサービスの提供及び新規会員の獲得数アップと既存会員の退会防止に主眼をおいた営業活動を推し進めてまいりました。

しかしながら、前期中途におきまして2店舗撤退したことにより売上高は194百万円（同23.5%減）となり、営業損失は17百万円（前年同四半期は1百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は15,520百万円となり、前連結会計年度末に比べ464百万円増加いたしました。これは主に、その他流動資産が127百万円減少し、現金及び預金が582百万円、商品及び製品が31百万円増加したことによるものであります。固定資産は1,842百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円減少いたしました。これは主に繰延税金資産が10百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は17,362百万円となり、前連結会計年度末に比べ452百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は4,129百万円となり、前連結会計年度末に比べ241百万円増加いたしました。これは主にその他流動負債が98百万円減少し、短期借入金が239百万円、未払法人税等が93百万円、

それぞれ増加したことによるものであります。固定負債は170百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円減少いたしました。これは主に役員退職慰労引当金が25百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は4,299百万円となり、前連結会計年度末に比べ224百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は13,063百万円となり、前連結会計年度末に比べ228百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が207百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は75.2%（前連結会計年度末は75.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月15日に公表しました通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,767,696	3,350,301
受取手形及び売掛金	6,525,197	6,532,965
営業貸付金	764,551	732,307
商品及び製品	3,642,113	3,673,558
仕掛品	5,204	4,949
原材料及び貯蔵品	26,107	30,967
前払費用	84,143	72,711
繰延税金資産	1,057,155	1,069,277
その他	364,975	237,431
貸倒引当金	△181,807	△184,159
流動資産合計	15,055,338	15,520,310
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,405,971	1,405,971
減価償却累計額	△1,056,858	△1,067,363
建物及び構築物（純額）	349,113	338,608
土地	227,722	227,722
リース資産	3,990	3,990
減価償却累計額	△1,862	△2,261
リース資産（純額）	2,128	1,729
建設仮勘定	1,083	—
その他	359,456	353,620
減価償却累計額	△289,230	△288,352
その他（純額）	70,226	65,268
有形固定資産合計	650,273	633,327
無形固定資産		
その他	3,359	4,630
無形固定資産合計	3,359	4,630
投資その他の資産		
投資有価証券	505,975	507,737
敷金及び保証金	178,915	178,728
繰延税金資産	279,373	268,938
その他	304,858	315,699
貸倒引当金	△67,978	△66,708
投資その他の資産合計	1,201,145	1,204,394
固定資産合計	1,854,779	1,842,352
資産合計	16,910,118	17,362,663

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	227,412	237,909
短期借入金	209,000	448,000
未払法人税等	149,068	242,528
前受金	1,021,651	1,025,153
割賦利益繰延	1,561,173	1,551,468
賞与引当金	52,292	52,371
返品調整引当金	31,756	35,003
その他	635,420	536,915
流動負債合計	3,887,775	4,129,349
固定負債		
リース債務	2,234	1,815
退職給付引当金	36,076	41,694
役員退職慰労引当金	25,230	—
資産除去債務	121,824	123,106
その他	2,223	3,526
固定負債合計	187,588	170,142
負債合計	4,075,363	4,299,492
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,656,000	1,656,000
資本剰余金	6,706,301	6,706,301
利益剰余金	5,675,320	5,883,300
自己株式	△1,328,892	△1,328,892
株主資本合計	12,708,730	12,916,711
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	126,023	146,460
その他の包括利益累計額合計	126,023	146,460
純資産合計	12,834,754	13,063,171
負債純資産合計	16,910,118	17,362,663

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	2,693,200	2,867,894
売上原価	1,127,048	1,151,535
売上総利益	1,566,151	1,716,359
販売費及び一般管理費	1,123,060	1,181,361
営業利益	443,091	534,997
営業外収益		
受取利息	489	428
受取配当金	2,207	2,802
為替差益	—	12,295
投資事業組合運用益	—	12,799
還付加算金	3,308	—
その他	10,116	8,478
営業外収益合計	16,122	36,803
営業外費用		
支払利息	2,395	1,357
不動産賃貸費用	776	953
為替差損	13,460	—
投資事業組合運用損	179	—
その他	1,876	845
営業外費用合計	18,688	3,156
経常利益	440,524	568,644
特別利益		
固定資産売却益	—	952
特別利益合計	—	952
特別損失		
固定資産除却損	49	—
減損損失	37,951	11,528
特別損失合計	38,000	11,528
税金等調整前四半期純利益	402,523	558,067
法人税、住民税及び事業税	33,728	222,338
法人税等調整額	94,110	△3,022
法人税等合計	127,838	219,315
少数株主損益調整前四半期純利益	274,684	338,752
四半期純利益	274,684	338,752

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	274,684	338,752
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,147	20,436
その他の包括利益合計	△10,147	20,436
四半期包括利益	264,536	359,188
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	264,536	359,188
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	アート関連 事業	金融サー ビス事業	リゾート 事業	健康産業 事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	1,818,899	354,046	265,989	254,264	2,693,200	—	2,693,200
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	60	2,829	—	—	2,889	△2,889	—
計	1,818,959	356,875	265,989	254,264	2,696,089	△2,889	2,693,200
セグメント利益 又は損失(△)	297,665	197,223	△99,372	1,314	396,831	46,260	443,091

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額46,260千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「リゾート事業」において、営業活動から生じる損益が継続してマイナスである資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。当該事業による当第2四半期連結累計期間の減損損失の計上額は37,951千円であります。

Ⅱ. 当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	アート関連 事業	金融サー ビス事業	リゾート 事業	健康産業 事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	1,991,773	353,289	328,248	194,582	2,867,894	—	2,867,894
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	60	3,536	—	—	3,596	△3,596	—
計	1,991,833	356,825	328,248	194,582	2,871,490	△3,596	2,867,894
セグメント利益 又は損失 (△)	328,267	217,358	△37,030	△17,521	491,073	43,924	534,997

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額43,924千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「リゾート事業」及び「健康産業事業」において、営業活動から生じる損益が継続してマイナスである資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。当該事業による当第2四半期連結累計期間の減損損失の計上額は6,903千円及び4,625千円であります。